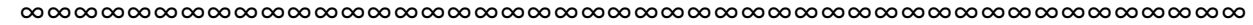
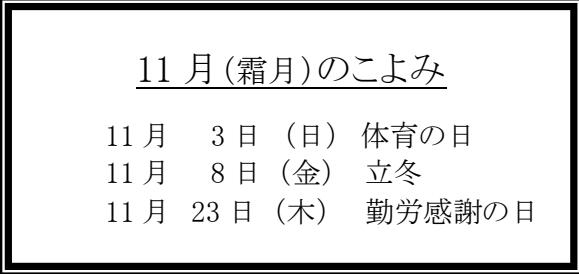
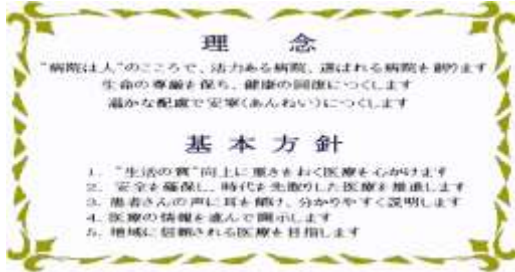


札幌医療センターつうしん

(2019-11号)

令和 元年 11月 1日 発行
KKR札幌医療センター
〒062-0931
札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40
電話(011)822-1811
<http://www.kkr-smc.com>



緩和ケア病棟で働くスタッフについて

緩和ケア科 大場 洋子

当院では2005年に6階東病棟を緩和ケア病棟として開設しました。地域がん診療拠点病院として主にがん患者さんに緩和ケアを提供する役割を担っています。

「緩和ケア」とは、生命を脅かす疾患にかかっている患者さんとそのご家族に対して体や心の苦痛を取り除き、より良い過ごし方ができるようにするための取り組みのことです。がん患者さんは、痛みなどからだの問題だけでなく、不安や不眠などのこころのつらさ、また仕事や家族の心配ごとなど色々な問題に直面します。緩和ケア病棟では患者さん一人一人の悩みを多方面から解決できるよう、複数の職種のスタッフがそれぞれの専門性を活かして患者さんの治療やケアにあたっています。それぞれの職種についてご紹介いたします。

◆ 緩和ケア科医師

緩和ケアの専門医師や精神腫瘍医が主治医となり、主に身体的、精神的苦痛を和らげるための処置や薬剤調整を行います。患者さんの個性を重んじ、尊重することを心がけています。

◆ 看護スタッフ

患者さんの生活のお手伝いや日々のケアに関わる主役です。24時間通して患者さん一人一人に合わせた内容のケアが受けられるよう、全員が患者さんのことを伝え聞き、ケアを行使しています。緩和ケアやがんの看護に関する専門的な資格を取得した看護師も所属しています。

◆ 公認心理師

がんによって生じるストレスは様々です。患者さんやご家族が抱える気持ちのつらさに対して専門的に相談、助言、援助を行い、気持ちのつらさを和らげるサポートをしています。

◆ 精神保健福祉士

福祉の専門職で、からだやこころに問題を抱えている患者さんやご家族が日常生活をスムーズに行えるよう支援したり、仕事や経済的な困りごとを解決するためのお手伝いをします。

◆ 薬剤師

緩和ケアの薬剤に関する豊富な知識を持った薬剤師が、患者さんに投与される薬剤をチェックし、安全性を確認しています。

◆ 栄養士

食欲がない、味がしない、など食べることに問題がある方には、担当の栄養士が食事内容の相談に乗り、患者さん個人個人に合った食事を提供しています。

◆ 理学療法士

リハビリの専門家です。可能な限り自宅で過ごしたい、外泊をしたい、などの目標が立てられる場合には、目標に向けてのリハビリテーションを行っています。

当院は≪敷地内全面禁煙≫となっております

「医療社会事業相談室とは、どんなところ？」

医療社会事業相談室 松田知恵

病気や怪我をすると、治療のことだけではなく、医療費や仕事のこと、ご家族のことや元通りの生活ができるだろうかなど、生活に様々な心配事がおきることがあります。

患者さんやご家族ができるだけ安心して治療を受けられるように、「医療社会事業相談室」では、このような心配事についての相談をお受けしています。

こんな時にご相談ください。

- ・医療費や生活費など、経済的な問題についてのご相談
- ・退院後の自宅での療養、介護に不安がある
在宅へのスムーズな退院のための環境整備、調整などのご相談
リハビリテーションや療養目的の病院や施設への転院に関するご相談
- ・退院後の生活や社会復帰に関するご相談
- ・介護保険制度、障害者に関する制度などの公的制度の手続き方法や福祉サービスの利用についてのご相談
- ・がん診療連携拠点病院としてのがんに関する相談
- ・療養中の様々の心配事や不安なことについて など

当院には、社会福祉士の資格を持つ医療ソーシャルワーカーが4名配置されています。

患者さんやご家族と一緒に考え、院内の他の専門スタッフと協力をしたり、地域の関係機関の方とも連携しながらご支援したいと考えています。がん相談に関しては、がん専門看護師と連携しながら、ご相談をお受けしております。退院調整に関しても、退院支援部門の看護師と協力して、支援を行っております。

ご予約をしていただければ、お待たせすることなく、ゆっくりお話をうかがうことができますので、事前にご予約をすることをお勧めします。

お申し込み方法	医師や看護師にご相談の上、事前予約をお願いいたします。
相談時間	月曜～金曜 8：30～17：15